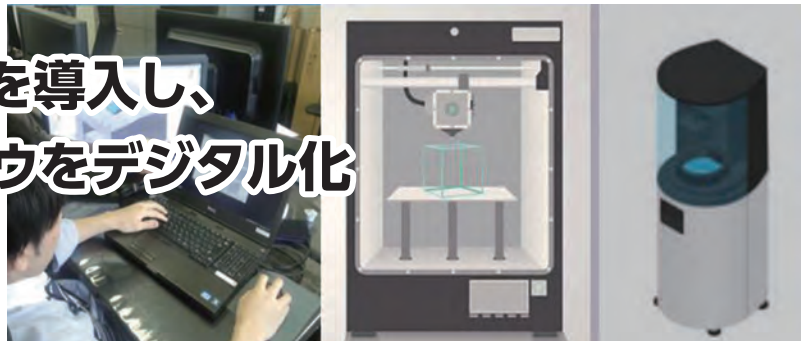


ナレッジ電承システムを導入し、 ベテラン職人のノウハウをデジタル化

だれでも効率良く、品質の良い
“ものづくり”が可能となった

ナレッジ可視化により、
情報検索時間を大幅に削減できた



工程、設計手順、ノウハウを技術マニュアル標準としてデジタル化する
「DX:ナレッジ電承システム」

企業情報

業種

製造業

事業内容

工業用プラスチック製品加工業

創業

1984年3月

代表者

代表取締役 青山 宗嗣

所在地

神奈川県川崎市高津区下野毛3-11-33

従業員数

日本12名、ベトナム50名

企業紹介

プラスチック塗装の専門技術による幅広い二次加工への対応と、実績ある協力企業との連携を活かした一貫生産体制により、お客様のニーズをワンストップで実現する。デザイン設計から試作、金型、成形、二次加工、アッセンブリまで対応できることを強みとしている。

従来の課題

・ベテラン職人の高齢化が進み、次世代への技能伝承が課題

塗装治具などの設計・製造において、ベテラン職人が経験（カン・コツ）により設計・製造を行い、個人の暗黙知に基づいて対応しているために、受注キャパシティに限界があり、同じ案件が重複すると商機を逃してしまうこともありました。

また、職人が持つ永年のノウハウについてデジタル形式で標準化を進め、若手や女性社員が活躍できる環境にしたいと考えていました。



取組概要と実施効果

・「ナレッジ電承システム」により、効率良く、品質の良い“ものづくり”が可能となった

・業務プロセスの可視化により「ナレッジの手の内化」を実現

課題解決のため、3DCADと3Dプリンターにより治具製造を行う「DX製造システム」と、蓄積した職人のノウハウをデジタル化により伝承できる「ナレッジ電承システム」を導入し、その2つを掛け合わせた「DX:ナレッジ電承システム」を構築しました。それにより、

業務(技術)プロセスの可視化とノウハウのナレッジ化を実現させ、同じ失敗をなくすことにもつながり、**だれでも効率良く、品質の良い“ものづくり”をすることが可能**となりました。ナレッジ可視化による情報検索時間の削減効果は5割減が見込まれます。また、3Dプリンターの活用により印刷治具の内製化も可能となり、長期的には人材不足に対応することが期待されます。

プロジェクトには営業技術担当者3名も一緒に従事し、ベテラン職人の勘所にデータという具体的な数値が間に入ることで、業務・技能の平準化が進みました。

実証実験メンバーが合格品質の印刷治具を製造できるようになった

中小企業はどこ職場でも人材難、このままだと設備があっても事業承継が難しくなることを懸念していました。今回の開発を通じて、製品の特性や難易度等のレベル感が伝えやすくなったことは大きな成果です。最終的には、そのレベル感を比較できる効果検証の指標ができると良いと思っています。もともと、品質管理やISO9001に沿った理念はあり、それが今回の挑戦の良い土壌として働きましたが、個人の成果の効果検証をどの様にしていくかが今後の課題です。また、ナレッジ電承システムの販売も予定しており、同業他社への横展開も行って参ります。



代表取締役
青山 宗嗣



<https://aoyama-pt.com/>

